

平成30年第8回瑞浪市教育委員会定例会会議録

(要点筆記)

日 時 平成30年7月26日(木) 13時30分開会

場 所 瑞浪市役所 4階 全員協議会室

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 本日の会議録署名委員の指名

日程第3 議 事

出席者

瑞浪市教育委員会

教育長	平 林 道 博
1 番	加 藤 博 之
2 番	山 田 幸 男
3 番	五 嶋 久 年
4 番	柴 田 洋 子

説明のため出席した事務局職員

事務局長	奥 村 勝 彦
事務局次長兼 学校教育課長兼 学校給食センター所長	工 藤 仁 士
教育総務課長	酒 井 浩 二
社会教育課長	大 山 雅 喜
スポーツ文化課長	工 藤 嘉 高

職務のため出席した事務局職員

教育総務課長補佐	鈴 木 友 恵
教育総務課総務係	安 藤 みちる

<教科書採択に関わる部分のみ抜粋>

教育長

つづいて「議第40号 平成31年度使用小・中学校用教科用図書の採択について」を議題とする。なお、本案に関する議事内容の公開は、採択にかかる手続きが全て完了する9月1日以降とする。
本案について事務局から説明を求める。

事務局次長

【議案資料より説明】

教育長

事務局から提案説明があったが、質疑はあるか。

柴田委員

自分が一番良いと感じたものが、選ばれた。上位3社を比較したところ、東京書籍については、紙質が黄味がかっており、目に優しく、落ち着いた印象を与える。

山田委員

東濃採択地区協議会における研究は、わかりやすく納得できる内容であった。それぞれ特徴があったが、東京書籍のものは、オーソドックスで扱いやすいかもしれない。

教育長

それぞれの地域が一番良いものを採択することが大切だ。また、着眼点に沿って評価することも大切である。東京書籍の教科書が「東濃独自の観点」で評価が高いということは、価値があると言えるのではないだろうか。

山田委員

東濃採択地区協議会において、昨年度採択された小学校用教科用図書とのつながりはどのようなかと研究員に尋ねたが、そういう観点では考察していないとの回答であった。

小中学校が同じような狙いをもって、指導していくのは大事なことである。例えば、東京書籍と光村図書では「橋の上のおおかみ」という教材を取り上げているが、この教材は小学1年生でも取り上げられており、同じ題材を中学校で再度取り上げるというのは面白い。小中学校の接続があって良い。

加藤委員

各市で意見が分かれたということはなかったか。

事務局次長

市単位ではなかったが、委員個人の中には、別の教科書がよいという意見もあった。

五嶋委員

自分の意見と一致した。「東濃独自の観点」については、事前に教科書会社に公表されていたのか。公表されていれば、その項目で高評価が取れる教科用図書が採択されるように思う。

事務局次長

公表していない。

教育長

他に質疑はあるか。

各委員

質疑なし。

教育長

それでは、質疑を終結し、採決を行う。「議第40号 平成31年度使用小・中学校用教科用図書の採択について」を原案のとおり承認するこ

とに異議はないか。

各委員

異議なし。

教育長

異議ないものと認める。よって「議第40号」は原案のとおり決する。